

では0歳から3歳までの就学前のお子さんを対象に「つくしんぼ広場（年会費1,000円）」を設けて、保育園ごっこ（体験保育）や育児講座などを行っています。

城南保育園の子育て相談室では、年間で約175組の親子が毎月1回つくしんぼ広場に集まって楽しんでいますよ。でも、この存在をまだ知らないかたもいるようです。保健センターや市役所の子育て支援係、スーパ－の掲示板で知ったというかたもいました。もっとPRが必要だと感じています。

子育て相談室  
 城南保育園内 ☎42 8135  
 釈迦内保育園内 ☎48 7310



「少子化」と言いますが、これって実は高齢化のもとなんです。社会

ママ、自信をもって。「育てるのは私」ですよ。

保健センター 保健師

戸田 ミワ子さん



昨年度保健センターに寄せられた母子に関する電話相談件数は1

日平均5件。半分は健診や予防接種の問い合わせですね。このほか「こんな症状なんです」とか応急処置などの問い合わせもあって、受診する前に一度相談してからという場合もあるようです。どんなときにもよく聞いて、不安を取り除いてもらえるようアドバイスしています。とき

が高齢者福祉にはかり力を入れてきた結果なんです。私たち小児科医師は20年前前から訴えてきたんですが、今やっと社会が子育ての大切さに気付いた気がします。昔子どもは「親の子」といわれていました。でも今は「社会の子」。周囲のみんなが見守ってくれていることを忘れず自信を持って子育てしてください。

共働きの親が多くなりましたね。おばあちゃんが見てくれるひとは幸せですが、保育園に預けてい

には自宅へ訪問して相談に応じることもあります。保健センターには、保健師や栄養士のほか、囑託ですが



おおだてっこ のびのび子育てマップ

子育てに関する情報を満載したマップを作りしました。相談先や市内の公園、遊び場が地図で紹介され、おむつが取り替えられる場所があるかどうかも教えてくれます。また、イベントや保健センターの事業、子育て伝言板の利用法など、この1冊があると安心です。子育てマップは保健センター、市役所市民ホールなどにありますのでご利用ください。

佐々木 静一郎 医師

佐々木小児科医院

大館市で30年以上の間、子どもたちの健康を見守っています。

場合も多いです。そこで働くママに一言。子に熱が出てピンチになったとします。そんなときママは逃げたいかもしれません。あくまでも自分が主体「育てるのは私！」という自信が大事です。できないところはもちろ、周りの助けを借りてください。子どもをしっかりと受けとめて頑張っていけば、お誕生を迎えるころには立派なベテランママになっていきますから。ここで逃げてしまうと、い

助産師・歯科衛生士もおります。病気や健康のことなら何でも気軽に相談ください。



成田めぐみさん (片山3区) 保健センターにある子育て伝言板に、イラ



ストのお手伝いを見ました。子どももママも見やすく、みんなが利用してくれる、そんな楽しい伝言板になってくれたらと思います。

つまでたつても恐くて自信が持てないんです。もちろんパパも育児に参加してください。ただ、パパの役割は赤ちゃんのミルクやおむつ交換だけじゃないんです。最近は家にママが2人いるような感じがします。ミルクも大切ですが、大きな心でママを支え、バックボーンになって、いざというときには毅然とした態度をとってママが安心して子育てできる家庭を作る、そんなパパを望みます。